

「プラスナリタラボ株式会社」の設立 ～成田空港や周辺エリアをもっとワクワクする場所に！～

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）、株式会社グリーンポート・エージェンシー（以下「GPA」という。）は、このたび、DMC※1「プラスナリタラボ株式会社」を設立し、成田国際空港株式会社のサポートのもと2024年4月1日より順次、成田空港周辺地域産品を活用した物販・卸事業、飲食事業、観光事業を推進してまいります。

主な事業



① 地域産品を活用した物販・卸事業

周辺地域の産品（さつまいもや落花生など）を活用した商品シリーズ（+NRT factoryブランド）を企画・開発し、販売を行うことで商品の高付加価値化・ブランド力向上を図る



② 地域産品を活用した飲食事業

先ず空港内で飲食店1店舗を運営し、地域産品を活用した飲食メニューを販売するとともに、①の商品を販売する



③ 空港起点観光事業

空港内のPRスペースや観光体験予約サイトを活用し、空港を起点とした周辺観光地への送客を図る

■会社名「プラスナリタラボ」について

「周辺地域と空港が一体となり、“ラボ”のように新しい取り組みに挑戦し続けることで、地域に“+（プラス）”の価値を付加し続ける」という意志を含め「プラスナリタラボ」という名称にいたしました。

■会社設立の目的

NAA（成田国際空港）グループでは、成田空港やその周辺地域に訪れてみたい人を増やす（目的地的）ことで、空港と地域がともに発展する地域ビジネスの確立を目指しております。プラスナリタラボ株式会社は、全国各地でDMCを組成した実績を有する機構と、日本の玄関口として多くの訪日外国人が来訪する成田空港の強みを掛け合わせた地域ビジネスを推進し、収益をあげながら持続的に展開していく仕組みづくりに取り組んでまいります。

※1 DMC：Destination Management/Marketing Companyの頭文字の略。
地域資源の活用を促進するため、旅行者にとっての目的地（Destination）を顧客視点でマーケティング・マネジメントする会社

■会社概要

会社名	プラスナリタラボ株式会社
所在地	千葉県成田市古込字古込1-1（成田国際空港内）
代表者等	代表取締役 福島 健之（機構 ディレクター）
資本金及び資本準備金	12,000,000円
出資比率※2	観光遺産産業化ファンド：83.3%、GPA：16.7%
事業内容	・成田空港と地域の発展を目的とする地域ビジネスの企画 ・物販・卸事業、飲食事業、観光事業

※2 プラスナリタラボ株式会社は、機構等が設立した株式会社観光産業化投資基盤が運営する「観光遺産産業化ファンド」とGPAが2024年3月18日に共同出資した会社となります。

■機構・観光遺産産業化ファンドのねらい

機構・観光遺産産業化ファンドは、「文化遺産や自然遺産等の『観光遺産』の価値を、インバウンド等のDESTINATIONに発展させ、観光消費額を増大すること」という組成目的に合致することから、プラスナリタラボへの投資による成田空港との取り組みを通して、(1)物販・飲食・体験を組み合わせた成田空港周辺の観光経済活性化を図る「地方交通拠点モデル」の創造や、(2)日本の地方観光地にインバウンドを誘客するモデルを構築することで、日本の地域観光経済の活性化を図ってまいります。

そのために、機構から以下の役職員をプラスナリタラボに派遣します。

代表取締役 福島 健之（株地域経済活性化支援機構 ディレクター）

取締役 大田原 博亮（株地域経済活性化支援機構 執行役員 マネージング・ディレクター）

【観光遺産産業化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html> 機構ホームページをご参照ください。